

200
260
1919



东
子
系

王保九年戌戌

二十一

... 此書は... 凡そ...

○此の書は... 凡そ... 一...

○ 一、...

○ 二、...

○ 三、...

○ 四、...

○ 五、...

○ 六、...

○ 七、...

○ 八、...

○ 九、...

○ 十、...

○ 十一、...

○ 十二、...

○ 十三、...

○ 十四、...

○ 十五、...

○ 十六、...

○ 十七、...

遊鳥の... 上り... 遊鳥は...

○... 遊鳥の... 遊鳥は...

○（Faint handwritten text, possibly a title or header）

○（Faint handwritten text）

Vertical text on the far right edge, possibly a page number or title.

Vertical text column, likely a section header or introductory text.

Vertical text column, beginning with a circled character.

Vertical text column on the far left edge.

茶之入信... 二人... 大志... 廣...

河... 文... 道... 一...

中... 向... 一... 一...

新... 之... 一... 一...

○... 雨... 一... 一...

○... 在... 一... 一...

○... 古... 一... 一...

○... 新... 一... 一...

○... 古... 一... 一...

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一
○五言古詩 卷之七 五言古詩 一

中野村に於ては...

○三月廿七日... 中野村に於ては...

皇朝御製 四庫全書 卷之三十五 禮部 樂制 樂考

○ 昔者周禮有司馬官掌三車之法一曰大車二曰小車三曰安車

○ 大車者大車也小車者小車也安車者安車也

○ 皇四月十三日言午時上進日柱橫向日大約日方時百熱之進

○ 八月廿二日言午時上進日柱橫向日大約日方時百熱之進

○ 昔者周禮有司馬官掌三車之法一曰大車二曰小車三曰安車

○ 大車者大車也小車者小車也安車者安車也

○ 昔者周禮有司馬官掌三車之法一曰大車二曰小車三曰安車

○ 大車者大車也小車者小車也安車者安車也

○ 昔者周禮有司馬官掌三車之法一曰大車二曰小車三曰安車

○ 大車者大車也小車者小車也安車者安車也

○ 昔者周禮有司馬官掌三車之法一曰大車二曰小車三曰安車

Handwritten text at the top of the page, possibly bleed-through from the reverse side. It is mostly illegible due to blurring and fading.

七五七 身古の内也 温志

弟年大人 一里年修下

直山 好修 修下 温志

若 修下 温志

果久 温志 一別 温志

温志 温志 温志

Handwritten notes in the top right corner, partially overlapping the main text. Includes characters like '子', '年', '月', '日'.

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...
○言言... (text continues) ...

Vertical text on the far left margin, possibly a date or reference.

○本日の御事... 御事... 御事...

○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし

○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし

○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし

○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし
○古語の味を以て何事の内を危く為すべし

○十月廿九日 晴 十月廿九日 晴 十月廿九日 晴

○十月廿八日 晴 十月廿八日 晴 十月廿八日 晴

○十月廿七日 晴 十月廿七日 晴 十月廿七日 晴

○十月廿六日 晴 十月廿六日 晴 十月廿六日 晴

○十月廿五日 晴 十月廿五日 晴 十月廿五日 晴

○十月廿四日 晴 十月廿四日 晴 十月廿四日 晴

○十月廿三日 晴 十月廿三日 晴 十月廿三日 晴

○十月廿二日 晴 十月廿二日 晴 十月廿二日 晴

○十月廿一日 晴 十月廿一日 晴 十月廿一日 晴

○十月二十日 晴 十月二十日 晴 十月二十日 晴

○十月十九日 晴 十月十九日 晴 十月十九日 晴

○十月十八日 晴 十月十八日 晴 十月十八日 晴

○十月十七日 晴 十月十七日 晴 十月十七日 晴

○十二日晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多
○十三日 晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多

○十四日 晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多

○十五日 晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多

○十六日 晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多

○十七日 晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多

○十八日 晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多

○十九日 晴 翌日 市老訪 物松 儀の申すに 世に解金 陸す 元の家
面見 惜し 御出 尾氏 先勝 申す 位と 傳大 松 叔 約 話 谷 登 舟 多

一、

一ノ八ノ九ノ十ノ十一ノ十二ノ十三ノ十四ノ十五ノ十六ノ十七ノ十八ノ十九ノ二十ノ二十一ノ二十二ノ二十三ノ二十四ノ二十五ノ二十六ノ二十七ノ二十八ノ二十九ノ三十ノ三十一ノ三十二ノ三十三ノ三十四ノ三十五ノ三十六ノ三十七ノ三十八ノ三十九ノ四十ノ四十一ノ四十二ノ四十三ノ四十四ノ四十五ノ四十六ノ四十七ノ四十八ノ四十九ノ五十ノ五十一ノ五十二ノ五十三ノ五十四ノ五十五ノ五十六ノ五十七ノ五十八ノ五十九ノ六十ノ六十一ノ六十二ノ六十三ノ六十四ノ六十五ノ六十六ノ六十七ノ六十八ノ六十九ノ七十ノ七十一ノ七十二ノ七十三ノ七十四ノ七十五ノ七十六ノ七十七ノ七十八ノ七十九ノ八十ノ八十一ノ八十二ノ八十三ノ八十四ノ八十五ノ八十六ノ八十七ノ八十八ノ八十九ノ九十ノ九十一ノ九十二ノ九十三ノ九十四ノ九十五ノ九十六ノ九十七ノ九十八ノ九十九ノ百ノ百一ノ百二ノ百三ノ百四ノ百五ノ百六ノ百七ノ百八ノ百九ノ百十ノ百十一ノ百十二ノ百十三ノ百十四ノ百十五ノ百十六ノ百十七ノ百十八ノ百十九ノ百二十ノ百二十一ノ百二十二ノ百二十三ノ百二十四ノ百二十五ノ百二十六ノ百二十七ノ百二十八ノ百二十九ノ百三十ノ百三十一ノ百三十二ノ百三十三ノ百三十四ノ百三十五ノ百三十六ノ百三十七ノ百三十八ノ百三十九ノ百四十ノ百四十一ノ百四十二ノ百四十三ノ百四十四ノ百四十五ノ百四十六ノ百四十七ノ百四十八ノ百四十九ノ百五十ノ百五十一ノ百五十二ノ百五十三ノ百五十四ノ百五十五ノ百五十六ノ百五十七ノ百五十八ノ百五十九ノ百六十ノ百六十一ノ百六十二ノ百六十三ノ百六十四ノ百六十五ノ百六十六ノ百六十七ノ百六十八ノ百六十九ノ百七十ノ百七十一ノ百七十二ノ百七十三ノ百七十四ノ百七十五ノ百七十六ノ百七十七ノ百七十八ノ百七十九ノ百八十ノ百八十一ノ百八十二ノ百八十三ノ百八十四ノ百八十五ノ百八十六ノ百八十七ノ百八十八ノ百八十九ノ百九十ノ百九十一ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百十

○大正九年十月十日
○大正九年十月十日

○古言百五... 日... 海... 也...

...
...
...

○ 此の... 二海... 難... 根... 妙... 母... 病... 知...
...
...

○ 古の... 此... 所... 母... 子... 母... 子... 母... 子...
...
...

○ 一二月... 終... 節... 節... 節... 節... 節... 節...
...
...

○ 三... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○ 四... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○ 五... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○ 六... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○ 七... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○ 八... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○ 九... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○ 十... 統... 統... 統... 統... 統... 統...
...
...

○十七日... 〓

○十八日... 〓

○十九日... 〓

○二十日... 〓

○二十一日... 〓

○二十二日... 〓

○二十三日... 〓

○二十四日... 〓

○二十五日... 〓

○二十六日... 〓

○二十七日... 〓

○二十八日... 〓

○二十九日... 〓

○古くは... 〇古くは... 〇古くは...

初き真徳の所年一三事の因縁を説き及不取の事
は其の因縁の事故に何れも及不取の事
は其の因縁の事故に何れも及不取の事

方那王の事多し其の事故に何れも及不取の事
其の因縁の事故に何れも及不取の事

正那の事一三事の因縁を説き及不取の事
其の因縁の事故に何れも及不取の事

一三事の因縁を説き及不取の事
其の因縁の事故に何れも及不取の事

伊の事一三事の因縁を説き及不取の事
其の因縁の事故に何れも及不取の事

其の因縁の事故に何れも及不取の事
其の因縁の事故に何れも及不取の事

其の因縁の事故に何れも及不取の事
其の因縁の事故に何れも及不取の事